

消毒用エタノール「ヨシダ」

日本薬局方 消毒用エタノール

アルコール類 水溶性 危険等級Ⅱ 火気厳禁

2008年7月改訂(第3版)

貯法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存
使用期限：ラベルに記載

16L

日本標準商品分類番号	
872615	
承認番号	(61AM)1762
薬価収載	1961年1月
販売開始	1961年1月
再評価結果	1982年8月

【禁忌(次の部位には使用しないこと)】
損傷皮膚及び粘膜〔損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。〕

【組成・性状】

1. 組成

エタノール(C₂H₆O)76.9～81.4vol%を含む。

2. 性状

本剤は無色澄明の液である。本剤は水と混和する。本剤は点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。本剤は揮発性である。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒。

【用法・用量】

本剤をそのまま消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤が眼に入らないように注意すること。
入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
- (2)広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。〔エタノール蒸気に大量または繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。〕

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹等
皮膚 ^{注)}	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

- (1)投与経路：外用にのみ使用すること
- (2)使用時

- 1)同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- 2)本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- 3)合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- 4)本剤は、引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。また電気メスを使用する場合は、乾燥させてから使用すること。

4. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】

本剤は使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、真菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部
東京都中野区中央5-1-10

製造番号

使用期限



ヨシダ製薬

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽 951

GS1-RSS



(01)14987288120565

JAN



4 987288 120568